

守り育てよう みんなの文化財



指定 建造物 東山寺（舞鶴市）

37

平成30年度新指定・暫定登録文化財の紹介

京都府教育委員会

はじめに

京都府教育委員会は、京都府文化財保護条例（昭和56年京都府条例第27号）に基づき、平成31年2月1日付で133件の暫定登録文化財の登録を告示しました。また、同3月29日付けで16件の指定文化財を告示しました（詳細は以下の表のとおり）。

京都府指定・登録・暫定登録等の文化財については、文化財の保護を図るために、所有者が行う修理・保存事業等に必要経費の一部を補助し、必要に応じて保存活用等についての助言等を行っています。この冊子では、冒頭で京都府教育委員会が文化財保護のために行った補助事業の一部を紹介し、指定文化財を写真で、暫定登録文化財を一覧で紹介しています。これまでの刊行物とあわせて、郷土の歴史や文化を考え、理解を深めるために御活用いただければ幸いです。

令和元年10月

平成30年度 京都府指定文化財一覧

番号	区分	区別	名称	年代	所在地	所有者	
①	建造物	指定	らいごういんこうじんどう 来迎院荒神堂	桃山時代 慶長6年（1601）	京都市東山区	来迎院	
②		指定	とうざんじ 東山寺 本堂及び、鐘楼、山門	江戸時代 本堂 嘉永6年（1853） 鐘楼・山門 天保10年（1839）	舞鶴市	東山寺	
③		指定	ふかたべじんじやほんでん 深田部神社本殿	江戸時代 文政12年（1829）	京丹後市	深田部神社	
小計		3件					
④	絵画	指定	しほんちやくしよくこうそだいしひみつえんぎ 紙本 著 色 高祖大師秘密縁起	室町時代	京都市伏見区	安楽寿院	
⑤		指定	しほんちやくしよくみぶじぞうえんぎ 紙本 著 色 壬生地蔵縁起	室町時代	京都市中京区	壬生寺	
⑥		指定	しほんちやくしよくにちれんしょうにんちゆうがさん 紙本 著 色 日蓮聖人註画讃	室町時代	京都市山科区	本圀寺	
⑦	美術工芸品	彫刻	指定	もくぞうせんじゆかんのりゆうぞう 木造千手観音立像 もくぞうふくうけんさくかんのりゆうぞう 木造空絹索観音立像 もくぞうじゆういちめんかんのりゆうぞう 木造十一面観音立像 もくぞうしょうかんのりゆうぞう 木造聖観音立像 もくぞうぼとうかんのりゆうぞう 木造馬頭観音立像	鎌倉～南北朝時代	京都市左京区	川合京都仏教美術財団
⑧			指定	もくぞうあみだにょらいおびりようきようじぞう 木造阿弥陀如来及両脇侍像	平安時代（脇侍） 室町時代（本尊）	宮津市	大谷寺
⑨			指定	もくぞうふどうみょうおうざぞう 木造不動明王坐像	室町時代	宮津市	大谷寺
⑩	考古資料	指定	こうみょうじほんどうさいこうかんじんじょう 光明寺本堂再興勸進状 こうみょうじほうがらう 光明寺奉加帳	室町時代	綾部市	光明寺	
⑪		指定	ごうふんしゆつどひん ヌクモ2号墳出土品	古墳時代	福知山市	福知山市	
⑫		指定	はなれごふんしゆつどひん 離湖古墳出土品	古墳時代	京丹後市	京丹後市	
⑬	指定	ふながたせつかん えびすやまいちごうふんしゆつど 舟形石棺 蛭子山1号墳出土	古墳時代	与謝野町	与謝野町		
小計		10件					
⑭	無形文化財	指定	しぼぞめ 絞り染（保持者：小倉 淳史）	—	京都市	—	
小計		1件					
⑮	記念物	史跡	指定	げしこふんぐん おおみどうらやまこふん 下司古墳群・大御堂裏山古墳	—	京田辺市	学校法人同志社（京都市）
⑯			指定	そのべはんしゆこいでげぼしよ 園部藩主小出家墓所	—	南丹市	学校法人佛教教育学園（京都市）
小計		2件					
合計		16件					

京都府指定・登録・暫定登録文化財等の保存修理事業等

平成30年度に行った京都府指定・登録・暫定登録文化財の保存修理事業等の概要を紹介します。

【1】建造物

屋根葺替修理などの保存修理事業と、防災設備の新設などの防災施設事業を対象としています。平成30年度は新規23件、継続9件の保存修理事業と、新規8件の防災施設事業、30件の災害復旧事業に対して助成しました。

井手町の玉津岡神社本殿（昭和59年度登録）は、江戸時代中期に建てられた一間社春日造で、鮮やかな彩色を施す社殿です。経年による檜皮葺屋根の傷みが激しくなり、平成2年以来の葺替修理が行われました。

平成30年度は、地震及び台風により多くの建造物が被害を受けたため、災害復旧事業として破損箇所の補修が実施されました。

【2】美術工芸品

掛軸、襖絵、仏像、古文書などを対象とした保存修理事業や防災施設設置事業を行っています。平成30年度は新規7件、継続4件の保存修理事業と新規3件の防災施設設置事業を助成しました。

舞鶴市の報恩寺本堂障壁画（平成25年指定）は、四十四面に及ぶ江戸後期の丹後地域の障壁画として貴重なものです。表面の折れや剥落、亀裂など、損傷が甚だしく進行しており、平成28年から4カ年に渡って解体修理が実施されています。



報恩寺本堂障壁画（左）修理前（右）修理後

【写真提供 株式会社修美】

【3】史跡名勝天然記念物、文化的景観

指定地内で自然崩落した土地の整地、説明板・境界標・警報・消火設備の設置等の管理に係る事業や樹木の剪定・樹勢回復、き損や劣化した石垣・園池等改修事業、保護増殖施設の設置などに係る事業を対象としています。

平成30年度は新規1件、継続1件の史跡名勝天然記念物保存事業に助成しました。暫定登録文化財峯山藩主京極家墓所（京丹後市）は崩れた墓石の積み直しや流入した土砂の除去などが行われました。また、平成30年度の豪雨・台風被害の文化財復旧事業として8件の事業に助成をしています。

【4】文化財環境保全地区保存修理事業

参道等の復旧整備、災害復旧等の事業を行っています。平成30年度は新規2件、継続1件の事業の助成をしました。正法寺（八幡市）は参道の境界塀、金剛院（舞鶴市）は三重塔の囲い塀がそれぞれ修繕され、継続事業の阿須々岐神社（綾部市）は、災害復旧事業として倒木伐採が行われました。

前頁 「平成30年度京都府指定文化財一覧」について

平成30年10月31日付で以下の2件が重要文化財となり、それに伴い京都府の指定が解除されました。

①絹本着色弥勒下生変相図「画文翰待詔李晟、至元三十一年甲午」等の銘がある（妙満寺（京都市）） ②京都盲啞院関係資料（京都府・732件のうち687件のみ（一部解除））

また、以下の6件の京都府暫定登録有形文化財については、平成30年度京都府指定有形文化財に指定されたため、登録が取り消されました。

①来迎院荒神堂 1棟（京都市）、②深田部神社本殿 1棟（京丹後市）、③木造観音菩薩立像1軀（大谷寺（宮津市））、④木造勢至菩薩立像1軀（同上）、⑤龍虎鏡 又クモ2号墳出土 1面（福知山市）、⑥舟形石棺 蛭子山1号墳出土 1合（与謝野町）

〈指定 建造物〉

①^{らいどういんこうじんどう}来迎院荒神堂

時代：桃山時代

所有者：来迎院（京都市）

来迎院は、真言宗泉涌寺派総本山泉涌寺の子院で、御寺別当来迎院とも称します。大同元年（806）、弘法大師が唐にて感得した三宝荒神を奉じて創建したといい、建保6年（1218）、堂宇の再興時に泉涌寺子院となったと伝えます。

荒神堂は、本堂背面の一段高い敷地に建つ覆屋内にあり、内部に重要文化財の三宝荒神坐像を祀ります。慶長6年（1601）に前田利家の娘兵部宮局により再建された建物で、墓股脚内や庇木鼻の彫刻、柱上部、桁まわり等に施された極彩色など、技巧に富み、華やかな社殿です。京都府内では類例の少ない隅木入春日造で、奈良県の春日大社を中心に発展した春日造の地域的展開を考える上で重要な建物です。



全景



軒廻り詳細



墓股

とうざんじ
②東山寺 本堂及び鐘楼、山門

時代：江戸時代

所有者：東山寺（舞鶴市）

東山寺は、元和9年（1623）に田辺藩初代藩主京極高三を開基に、梅天禅師を開山として創建された、臨濟宗妙心寺派の禅寺です。寛文8年（1668）に牧野家が藩主となった以降も庇護され、特に3代藩主牧野英成の信仰は篤く、英成死後の寛保元年（1741）には境内の一角に墓所が整備されました。

本堂は、境内奥に北面して建つ中心堂宇で、背面に附属する書院に面して牧野家墓所と庭園を設けています。現在の本堂は、前身堂が嘉永2年（1849）に焼失した後、嘉永6年（1853）に再建されたもので、細部意匠や正面・内部の長大で豪快な造りは江戸末期の特色と寺の格式の高さをよく示しています。平面の構成は、墓所への控間として意匠を凝らした「城主席」と呼ばれる一室を有する等、他にあまり例を見ないもので、大名家の菩提寺として発展した東山寺の歴史を象徴しています。また、鐘楼及び山門は、嘉永の火災を免れた天保10年（1839）建立の建物で、田辺藩内の臨濟禅修行道場として中心的役割を担った寺院の姿を今に伝える建築です。



本堂 全景



本堂 城主席



鐘楼 全景



山門 全景

ふかた べじんじゃほんでん
③ 深田部神社本殿

時代：江戸時代
所有者：深田部神社（京丹後市）



全景



庇正面の彫刻



外陣

深田部神社は、延喜式内社に比定され、丹波道主命がこの地に宇気母智神^{うけもちのかみ}を祀ったのを創建と伝えています。応仁年間（1467～69）には荒廃に至り、現在の深田山に遷り、八幡神を合祀したとされます。近代には旧村社に定められ、現在は宇気母智神・八幡大神・天照皇大神・天児屋根命の4柱を4基の厨子内にそれぞれ祀ります。

本殿は、文政12年（1829）に再建されたもので、棟札等の史料により造営時の状況を窺い知ることができます。さらに、前身建物のもともみられる上棟木槌や中世期に造られた厨子も残り、高い歴史的価値をもっています。規模の大きな入母屋造の三間社社殿で、大振り且つ豊富な彫刻装飾は技術的に優れるとともに、地域的特色を顕著に示す貴重な建物です。

〈指定 美術工芸品（絵画）〉

④紙本著色高祖大師秘密縁起

時代：室町時代

所有者：安楽寿院（京都市）

弘法大師の伝記絵巻。詞書は極楽房永慶、絵は往忠によるもので、詞書の書写が応仁2年（1468）であるなど、制作経緯が詳細に知られる室町時代の絵巻として貴重です。内容は鎌倉時代に成立した最初期の弘法大師の伝記絵巻をもとにしており、その全体像を伝える最古の作例として、弘法大師信仰を考える上でも価値が高いものです。



紙本著色高祖大師秘密縁起（部分）

⑤紙本著色壬生地蔵縁起

時代：室町時代

所有者：壬生寺（京都市）

壬生寺の創建、沿革と本尊地藏菩薩の靈験についての縁起絵巻。平安時代の仏師定朝が本尊の地藏をつくる場面にはじまり、多くは治承から延応の出来事を中心に扱っています。

付属する極により文明18年（1486）の制作とみられ、室町時代における縁起絵巻の優品として価値が高いものです。

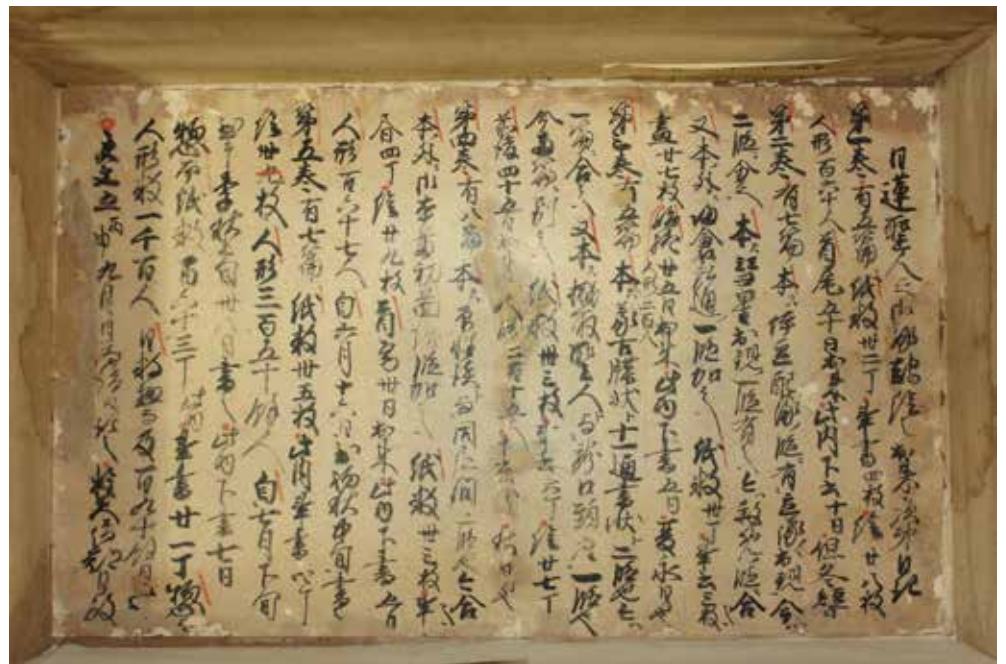


紙本著色壬生地蔵縁起（部分）

しほん ちやくしよくにちれんしょうにんちゆう が さん
 ⑥紙本著色日蓮聖人註画讚

時 代：室町時代
 所有者：本圀寺（京都市）

日蓮の伝記絵巻。日澄が室町時代中期に撰述した日蓮伝の現存最古の写本で、日蓮の生涯を描く絵巻としても最も古いものです。奥書により画工を窪田統泰、^{くぼ たとうたい}勸発師を日政として天文5年（1536）若狭国小浜長源寺でつくられたことが知られ、制作当初に誂えられた現存の箱にも絵巻制作についての詳細な記録が残っています。本作には特徴的な絵画表現が認められ、とりわけ建築の縁周りの形態把握や円弧状の破風、細密な線の反復による土坡などの柔らかな^{あさい}賦彩、彩色主体で描出される樹木などに顕著にみられます。制作当初の画面をよく保っており、入念な描写や明朗な賦彩など、窪田統泰の優れた作風を伝えるとともに、日蓮の絵伝の古例として、また制作の詳細を知ることのできる絵巻として高い歴史的価値をもっています。



(上) 附 漆箱 1合 (下) 同箱蓋裏墨書



紙本著色日蓮聖人註画讚

〈指定 美術工芸品（彫刻）〉

⑦木造千手観音立像

木造不空羂索観音立像

木造十一面観音立像

木造聖観音立像

木造馬頭観音立像

木津川市加茂町にかつて存在した燈明寺伝来の観音像で、いずれも制作年代は13世紀後半から14世紀に遡ります。燈明寺の本尊として伝わった千手観音像が等身の漆箔仕上げであるのに対し、他の二軀は素地仕上げの等身像、二軀は三尺余りと差があり、六観音とするため次第に造り加えられた可能性が指摘されています。特に不空羂索観音像は納入品から徳治3年（1308）に一日で制作されたことが知られる像で、当時しばしば行われた一日造立仏の貴重な作例です。南山城を代表する古刹であった燈明寺の歴史を伝える群像としても全体として高い価値をもっています。

時代：鎌倉～南北朝時代

所有者：一般財団法人川合京都
仏教美術財団（京都市）



木造千手観音立像



附 不空羂索観音立像 納入品

(上) 木造合体天部形像（二軀）

(下) 観音像造立奉加結縁交名



木造不空羂索観音立像



木造十一面観音立像



木造聖観音立像



木造馬頭観音立像

もくぞう あ み だ に よ ら い お よ び り よ う き ょ う じ ぞ う
⑧木造阿弥陀如来及 両脇侍像

時 代：室町時代（本尊）
平安時代（脇侍）
所有者：大谷寺（宮津市）

天橋立の北端、丹後府中に位置する大谷寺の本尊で、京都府暫定登録文化財調査において阿弥陀如来坐像の像内に銘文が発見され、願主が丹後国守護の一色氏、仏師を康珍・康琳として永正8年（1511）につくられたことが明らかになりました。史料の少ない戦国期の一色氏や、東寺講堂大日如来像の作者として知られる康珍の動向が知られ注目されています。また、両脇侍は丹後を代表する平安後期の優美な像で、史料の少ない当地域の平安時代の歴史を考える上でも貴重なものです。丹後府中に伝来する三尊像として全体が高い価値を持っています。



木造阿弥陀如来坐像



木造阿弥陀両脇侍像

もくぞう ふ だうみょうおう ぎ ぞう
⑨木造不動明王坐像 時 代：室町時代
所有者：大谷寺（宮津市）

大谷寺に伝わる不動明王像で、像内の銘文から丹後国守護一色義直を大檀那、智海を願主に文正2年（1467）につくられたことが知られる室町時代の基準作です。智海は大谷寺大聖院を本拠とした僧侶で、一色氏の守護代、延永春信らと智恩寺多宝塔を再建するなど、この時期の政治・文化に重要な役割を果たしていました。また、多くの不動明王像を描いたことでも知られ、丹後地域にも少なからず現存しています。史料の少ない当時において、一色氏と智海により造像されたことが明らかな本作は、丹後の歴史上に重要な意味を持っています。



木造不動明王坐像

〈指定 美術工芸品（古文書）〉

⑩光明寺本堂再興勸進状

光明寺奉加帳

時代：室町時代

所有者：光明寺（綾部市）

綾部市睦寄町にある光明寺は、大永7年（1527）に戦乱で二王門を除いて堂舎が焼失し、天文2年（1553）に再建されました。この時に作成されたのがこの勸進状と奉加帳です。勸進帳は寺の由緒や本尊の功德などを示し、奉加（寄附）を呼びかけるものとなっています。奉加帳は、天文2年から江戸時代前期にかけての奉加を記録したものであり、中世村落の様子を知る上でも重要な資料となっています。



光明寺本堂再興勸進状



光明寺奉加帳

〈指定 美術工芸品（考古資料）〉

⑪ヌクモ2号墳出土品

時代：古墳時代

所有者：福知山市

ヌクモ2号墳は福知山市を流れる由良川中流域の長田野丘陵北端部に所在した古墳です。平成元年（1989）に近畿自動車道敦賀線の工事に先立ち調査されました。古墳は一辺10m程度の小規模な方墳で、埋葬施設は木棺直葬と呼ばれる形態でした。

副葬品の中でも、直径11.5cmを測る銅鏡は中国三国時代に製作された龍虎鏡と呼ばれる鏡で、龍と虎が半肉彫りで点対称に見返る状態で描かれる珍しい図案のもので注目されます。また、玉類には硬玉・琥珀・滑石製勾玉や、碧玉・緑色凝灰岩製管玉、ガラス小玉、滑石製白玉があります。出土品には中国製の鏡を含む優品が多く含まれ、地域首長墓の副葬品として貴重なものといえます。



ヌクモ2号墳出土品（銅鏡）

⑫ はなれここふんしゅつどひん 離湖古墳出土品

時代：古墳時代
所有者：京丹後市

離湖古墳は京丹後市網野町、離湖に突出する丘陵頂部に位置しています。平成2（1990）・3年（1991）に発掘調査が行われ、埴輪列をもつ一辺約40mの大型方墳であることが分かりました。埋葬施設は2基見つかって第1主体部は長持形石棺、第2主体部は箱形木棺を納めていました。

第1主体部は盗掘を受けており、三角板、鉾留短甲、鉄刀、鉄鏃、鉄斧、刀子が破損した状態で検出されました。第2主体部は未盗掘で、重圈文鏡、銅釧、石釧、鉄鉾、鉄剣、鉄刀、鉄鏃、玉類、豎櫛が副葬されていました。

出土遺物から第2主体部が古墳時代中期前葉に造られ、約四半世紀後に第1主体部が造られ、埴輪もこの時期に並べられたと判断されます。離湖古墳の副葬品は古墳時代中期の首長墓にふさわしい内容のものであり、考古学上重要な資料といえます。



離湖古墳出土品

(上) 銅釧

(下左から) 鉄器類、豎櫛、銅鏡、石釧

⑬ ふながたせつかん えびすやまいち ぎょうふんしゅつど 舟形石棺 蛭子山1号墳出土

時代：古墳時代
所有者：与謝野町

蛭子山1号墳は野田川中流の左岸に位置する全長145mを測る大型前方後円墳です。

舟形石棺は3基確認されている埋葬施設のうち、中央に位置する埋葬施設から出土しました。石棺は全長約3mの花崗岩製のくり抜き式であり、棺身は両小口に1箇所ずつ縄掛突起があり、掘り込まれた棺内には石枕を削り出しています。棺蓋は断面蒲鉾状で縄掛突起を両小口に2箇所ずつ削り出しています。棺はノミ小叩き技法により仕上げられ、棺の内面には赤色顔料が残存しています。

この石棺は府内出土の石棺の中でも優品であり、また国内の石棺の基準資料としても重要な位置を占めています。



舟形石棺 蛭子山1号墳出土

〈指定 無形文化財（染織）〉

⑭ ^{しば} ^{ぞめ} 絞り染

保持者：小倉淳史 ^{おぐらあつし}
住 所：京都市

絞り染は、布の一部を糸などで縛ったり、縫い締めるなどして圧力をかけた状態で染料に浸すことで、圧力のかかった部分に染料が染み込まないようにして模様を染め出す染織技法の一つです。

保持者の小倉淳史氏は、昭和21年（1946）染織作家小倉建亮 ^{おぐらけんすけ}の長男として京都に生まれ、辻が花の復元に尽力した父建亮とその弟子たちから絞り染の技術を習得しました。日本伝統工芸展を中心に作品を発表しつづけ、平成30年第65回日本伝統工芸展では絞り染訪問着「緑影 ^{ろく}の迹 ^{えい}」が文部科学大臣賞を受賞するなど、確かな技術から生み出された創造性と芸術性あふれる作品は高く評価されています。また、公募展へ出品するかたわら重要文化財の復元なども手がけるとともに、後継者の育成にも力を注いでいます。



染織 絞り染 小倉 淳史 氏

〈指定 史跡〉

⑮ ^{げしこふんぐん} 下司古墳群・^{おおみどううらやまこふん} 大御堂裏山古墳

所在地：京田辺市
所有者：学校法人同志社（京都市）

下司古墳群・大御堂裏山古墳は木津川左岸の丘陵に立地し、現在は同志社大学京田辺校地となっています。昭和38年（1963）、57年（1982）に行われた発掘調査で、下司古墳群では8基の横穴式石室墳が確認され、7世紀前葉から古墳を築造し、8世紀初頭まで追葬が行われる終末期群集墳であることが分かりました。古墳群中最大の1号墳の石室は全長約8.5mを測ります。大御堂裏山古墳は下司古墳群の西に近接する単独墳で下司古墳群と同時期に築造されました。

これらの古墳は、古墳時代から飛鳥時代の過渡期に成立する終末期群集墳として様々な社会情勢や他地域との関係を示しており、京都府の歴史を知る上で欠かせない遺跡といえます。



下司2号墳横穴式石室

そのべはんしゅこいでけほしよ
①⑥園部藩主小出家墓所

所在地：南丹市

所有者：学校法人佛教教育学園（京都市）



園部藩主小出家墓所

園部藩主小出家墓所は、南丹市園部町栄町に所在します。園部城跡からは南方に約1 km 離れています。園部藩は元和5年（1619）に小出吉親が但馬国出石藩から入部したことにより成立します。小出氏は初代吉親から10代英尚まで代々藩主を務め幕末を迎えます。

墓所は丘陵の頂部にあり、八角形の土塀で周囲を囲います。土塀の周囲には溝が巡り一部は石垣を積み上げる類のない構造をしています。内部には初代から9代までの巨大な五輪塔が建ち並んでいます。五輪塔の配置から初代の五輪塔と、その他3群の五輪塔に分けることができます。五輪塔群の四方に礎石があることから覆屋があったと推測されます。

府内の大名家墓所としては近世の状況を良好に保っており、構造上も類をみない貴重な遺跡と評価できます。



墓所周囲に巡る溝と石垣

平成30年度京都府暫定登録文化財一覧（133件）

※文化財の名称には一部略称を使用した。

〈建造物〉

- 【京都市】▽妙法院本堂、白書院、御座の間、唐門、表門 ▽両足院客殿、玄関、表門 ▽本願寺山科別院本堂、中宗堂、渡廊下、正門、北門、鐘楼、手水舎 ▽高山寺金堂、開山堂 ▽曇華院本堂、鐘楼、表門
- 【城陽市】▽念仏寺本堂、表門
- 【精華町】▽鞍岡神社本殿 ▽新殿神社本殿、八王子社 ▽専光寺本堂 ▽祝園神社本殿、表門
- 【亀岡市】▽加舎神社本殿
- 【南丹市】▽八幡神社本殿、拝殿 ▽武部家住宅主屋、表門
- 【綾部市】▽赤國神社本殿 ▽上宮神社本殿 ▽河牟奈備神社本殿 ▽福太神社本殿 ▽室尾谷神社本殿
- 【福知山市】▽圓覚寺本堂 ▽春日神社本殿 ▽願来寺本堂、地藏堂、観音堂 ▽八幡神社本殿 ▽八幡神社本殿 ▽龍源寺本堂、阿弥陀堂（旧惣堂）
- 【舞鶴市】▽雨引神社本殿 ▽阿良須神社本殿 ▽伊智布西神社本殿 ▽猪蔵神社本殿 ▽倭文神社本殿 ▽松林寺本堂、観音堂 ▽瑞光寺本堂、鐘楼、山門 ▽西飼神社本殿 ▽八幡神社本殿 ▽般若寺本堂、鎮守社、楼門 ▽東山寺庫裏 ▽富留山神社本殿 ▽本行寺本堂、惣門
- 【宮津市】▽金剛心院本堂、勅使門 ▽智源寺本堂 ▽妙立寺本堂、番神堂 ▽和貴宮神社本殿、拝殿、神門、裏門
- 【京丹後市】▽加茂神社本殿 ▽西方寺本堂 ▽吉田神社本殿 ▽旧小林家住宅主屋 ▽旧松岡家住宅主屋 ▽旧湯浅家住宅主屋
- 【伊根町】▽眞嶋神社本殿
- 【与謝野町】▽明境神社本殿 ▽板列八幡神社本殿、幣殿 ▽常栖寺本堂、寶堂、庫裏、山門

〈美術工芸品〉

- 【亀岡市】▽絹本著色釈迦十六善神像（穴太寺） ▽絹本著色仏涅槃図（圓通寺） ▽絹本著色十一面観音像（光忠寺） ▽絹本著色涅槃図（極樂寺） ▽絹本著色大通令為像、絹本著色大通令為像 木村徳応筆 明暦四戊戌年の賛がある、絹本著色大通令為像 木村徳応筆 明暦戊戌八月八日の賛がある（瑞巖寺） ▽絹本著色釈迦十六善神像（千手寺） ▽岸連山襖絵及び関連資料（個人） ▽筒形銅器 穴太古墳出土（個人）
- 【宮津市】▽絹本著色即安梅心童子像、紙本著色趙室宗栢像（盛林寺） ▽紙本金著色柳橋図 六曲屏風、旧本堂障壁画（智源寺）
- 【京丹後市】▽絹本墨画白衣観音像（本願寺） ▽石枕 新浜3号墳出土、大將軍遺跡出土品（京丹後市）
- 【大山崎町】▽木造行基菩薩坐像（宝積寺）
- 【福知山市】▽木造薬師如来坐像（醍醐寺） ▽木造薬師如来坐像（中自治会） ▽大内城跡墳墓出土品（福知山市）
- 【宇治市】▽隠元隆琦墨跡 大殿樂成偈、木庵性瑠墨跡 大雄宝殿樂成上堂卷、木庵性瑠他墨跡 諸師舍利賛和韻（萬福寺） ▽上林春松家文書（個人）
- 【舞鶴市】▽春屋宗園墨跡、春屋妙葩寄進状及び同状施入状（雲門寺） ▽徳永重兵衛家文書（個人）
- 【精華町】▽藤田茂三郎家文書（個人） ▽森島清右衛門家文書（個人）
- 【京都市】▽京焼茶道具（皆具） 寺町旧域出土（京都府）
- 【向日市】▽物忌木簡 長岡京跡出土（向日市）
- 【長岡京市】▽旧石器 南栗ヶ塚遺跡出土（長岡京市）
- 【与謝野町】▽俳額「奉納歌僊行」（柴神社）

〈有形民俗文化財〉

- 【京都市】▽和束の三樵関連用具、南山城の柿渋製造関連用具、上粕の桶製作修理関連用具及び製品、寒天製造順序掛図（京都府）

〈史跡・名勝〉

- 【京田辺市】▽朱智神社境内
- 【亀岡市】▽出雲大神宮境内 ▽延福寺境内、庭園 ▽浄福寺庭園
- 【宮津市】▽如願寺境内 ▽和貴宮神社境内
- 【舞鶴市】▽心種園

京都府指定・登録等文化財市町村別件数一覧（平成31年4月1日現在）

種別	有形文化財																	無形文化財	民俗文化財				記念物					指定登録小計	文化財環境保全地区	選定保存技術	文化的景観	暫定登録文化財	合計					
	美術工芸品										有形	無形	史跡	名勝	天然記念物	及び名勝	天然記念物																					
	建造物		絵画		彫刻		工芸品		書跡典籍										古文書		考古資料		歴史資料		小計													
市町村	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	決定	選定	選定													
京都市	49	8	33	14	1	20		6		10	8	7	1	98	2	9		2		1	2	3		1	2		165	12	1	2		466	646					
向日市	2	1									1			1	0					1							4	1			1	33	39					
長岡京市	1	1	2	4					2	1				9	0							1		1			11	2	1			71	85					
大山崎町		1		1				1		1				3	0												3	1				7	11					
宇治市	11	3		3	1				2	3				9	0				1	1	4						26	3	2			80	111					
城陽市		4		1									1	1	1			2									1	7	4			16	28					
八幡市	5	2		3	2	1	2	1						9	0					1	1	1	1				17	3	2			24	46					
京田辺市	1	5	3	2	1				1	1	1			7	2												10	7	6			14	37					
木津川市	4	8	2	1	4	3	2	1		1	1	1		11	5			3	1	5	1			1			18	21	8			79	126					
久御山町		1									1			0	1													0	4				5	9				
井手町	1	1			1					1	1			2	1									1			4	2	2		1	1	10					
宇治田原町	1	3			1									1	0				1	1							3	4	2			0	9					
笠置町		2	1					1	1					3	0					1							3	3	1			9	16					
和束町	1	1	2		2									4	0			2	1				1				6	4	1		1	0	12					
精華町		1				1								1	0				1								2	1	1			9	13					
南山城村		2	1								1			1	1				1								2	3	1		1	5	12					
亀岡市	7	6	2	3	2	2			2				3	12	2			1	1	3		3	1				23	13	7			83	126					
南丹市	7	8	1	2	1	2		1	1	1				6	3				2	10	3		1			19	21	7			30	77						
京丹波町	1	5	2	3	1	1			2	1				8	2				1	3			1				11	10	2			5	28					
綾部市	7	7	1		1	2		1	1	1	1			6	2	1				3		1	1				16	12	5		1	14	48					
福知山市	5	4	5	1	1	2	2	2		4	3			17	3	1	1		2	6	3		2				31	13	5		2	16	67					
舞鶴市	8	3	3	2	2		1	3	2	1				12	2			1	11		2						22	17	3			36	78					
宮津市	6	1	4	5	2	1	2		5	1	3	1		22	2			3	1	2		3	1				33	8	1		1	47	90					
京丹後市	5	5	3	7	2		4			1	1	6	1	1	17	9			3	11	6	1	1		1		34	25	3		2	71	135					
伊根町		1	1						4					5	0				2	5								7	6				3	16				
与謝野町	3	2	1			1					2			4	0				1	3	4	2	2				16	5	3			19	43					
地域定めず														0	0													0	5					5				
合計	125	86	67	8	53	9	42	9	15	1	43	8	36	1	13	2	269	38	11	0	3	12	20	70	24	0	19	1	15	6	1	487	213	68	2	10	1143	1923
	211	75	62	51	16	51	37	15	307	11	15	90	24	20	21												700											

重要文化財及び府指定文化財等に指定又は文化財の焼失等により府の指定・登録が解除、取消となった数は除く。

文化財保護 NO.37

令和元年 10月発行

守り育てようみんなの文化財

発行 京都府教育委員会
 京都市上京区下立売通新町西入ル藪ノ内町
 編集 京都府教育庁指導部文化財保護課
 TEL (075)414-5901